

■令和4年度 市長をかこむ会

川之内地区 R4.7.7 (木)

19:00~20:21

場所：川之内地区公民館

出席者	住民	22人	市 大城市長・松良政策推進課長 政策推進課 菊地補佐・堀口係長
-----	----	-----	------------------------------------

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
建設課	※事前質疑 公民館前のり面の補修について		昨年度に崩壊し土砂の撤去は行ったが、現在も斜面より土砂が落ちてくる状況であるため、法面保護の対策を検討する。
建設課	※事前質疑 公民館横水路の補修について		水路の下流側についてはコンクリートの三方張りとなっているが、上流側は土砂が堆積し草が生い茂っているため、土砂の撤去を行った後、水路の改修方法を検討する。
学校教育課	※事前質疑 元川之内小学校裏、市共同設置の落石防止板の取替えについて		7月1日に修繕工事が完成し、新しい落石防止板になっている。今後も修繕が必要な場合は連絡してほしい。
建設課	※事前質疑 柏木地区水路の整備について		暗渠管(ヒューム管)の接続部のずれにより、水が擁壁の裏側を回って排水されているようである。道路を横断する暗渠管の流入口と流出口の高低差が大きいことにより深い位置に埋設されているため、原形での復旧は困難と思われる。開水路及び浅い位置に埋設する方式で改修方法を検討する。
建設課	※事前質疑 大上地区の補修済みの小川の転落防災対策について	人が転落する恐れだけでなく、山側から土砂が水路に落ちる可能性もあるので、対策を検討してほしい。	水路の天端と底の落差が2m以上あり危険な状況であるため、転落防止柵を設置する。土砂が水路に落ちることを防ぐ対策については、今後検討する。 【補足】 土砂が水路に落ちてくる可能性はあるが、今のところ影響がないため、経過観察としたい。(区長と協議済み)
農林課	※事前質疑 広域農道入口、のり面草刈りについて		要望のあった基幹農道の川之内地区側の山留側法面の除草作業については、施工業者に見積りを依頼し、7月8日から4日間程度で除草作業を実施、完了する見込みである。 【補足】 7月8、9、11日の3日間で除草作業を完了した。
建設課・農林課	※事前質疑 赤道の補修について	イノシシが原因で赤道の山側が崩れている。山留側法面に鉄柵を設置してほしい。	赤道の山側が崩れた場合等については、土砂の撤去は行っているが石積の設置等、法面の保護対策は行っていないため、土砂撤去まで対応する。イノシシの駆除も必要である。市では狩猟免許取得者に対する補助もしているので利用してほしい。自分たちの地域は自分たちで守るという思いで取り組んでほしい。
建設課	南裏地区の生活道について	道幅が狭く法面が急である。徐々に法面が崩れ、道のコンクリート舗装が浮いている状態になっている。修繕をお願いする。	現場を確認して対応を検討する。 【補足】 市道から農道に繋がる生活道(赤道)の路肩部の一部が崩壊しているため、原材料の支給で対応したい。(地元協議済み)

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
建設課	夜昼トンネルについて	市にとって重要な道路だと思うが、完成してから半世紀近く経過している。道幅が狭く暗いが、災害時は大丈夫なのか。	新夜昼トンネルができる予定となっており、新しいトンネルができた後、現在のトンネルの天井を撤去する予定と聞いている。その際には路面等の補修も行われると思っている。
総務課	職員の防災地域担当制について	高知県黒潮町では、防災地域担当制という制度があり、職員が通常業務に加え、防災業務も兼務している。市では、このような制度の導入を予定しているのか。	避難所開設の際には、地区ごとに職員を事前に割当している。職員も防災士の資格を取得し、研修を受講するなどしてスキルアップを図っていきたい。 【補足】 かこむ会での回答のとおり、初動での避難所開設の際には、地区ごとに職員を割当している。(必ずしも地区内に居住している職員が割当られているものではない。) また、職員の防災士資格の取得者数も各地区からの推薦や消防団経験者等により少しずつ増加している。 大規模な災害の際には、多くの職員が被災することも考えられるため、公助の力をすぐに届けることはできないが、研修等を通じて職員のスキルアップを図っていきたい。 まずは、自分の身は自分で守る自助の力、地域の人たちが協力して助け合う共助・近助(所)の力を養っていただきたいと思う。
政策推進課	ふるさと納税の寄附金額について	市に対するふるさと納税の寄附金額が県内自治体の中でずば抜けて多い。必要経費を差し引いた後の市の純粋な収入額はいくらなのか。	近年、市に対する寄附件数・金額ともに県内でトップとなっている。令和3年度の金額は約14億5千万円で、返礼品の9割は柑橘となっている。口コミで好評を得て、全国から寄附がきている。返礼品と必要経費の合計額は寄附金額の半分以下と決まっているので、市に残る純粋な金額は約7億円である。
市立病院	市立八幡浜総合病院の経営状況について	市立病院の累積赤字が解消されたという新聞の記事を目にした。コロナ病床を確保しているので国の補助金が入ったと思うが、補助金がなくなった場合、病院の経営状況はどうか。	国の制度が変わり、職員の退職金を準備する必要があったため、累積赤字が10億円以上になった時期がある。その後、単年度黒字により、少しずつ累積赤字を減らしてきた。確かに、コロナの補助金が累積赤字解消の大きな要因だが、補助金がなくても単年度黒字となっている。
学校教育課	元川之内小学校の水道について	川之内小学校の水道のどこから水漏れが発生しているため、普段はバルブを閉めている。水道タンクのところに、水道を使用するときだけバルブを開けるようにと記載したビラが貼っているが、ビラが小さい。トイレや水道のところに大きいビラを貼ってほしい。また、バルブのある場所は網に囲まれて入りにくくなっているため、入りやすいようにしてほしい。	現場を確認して対応を検討する。 小学校の利活用を決める必要がある。活用方法が決まれば、水漏れも改修できる。校舎は松村氏の設計であるので保存したいと思っている。地区で良いアイデアがあれば連絡してほしい。 【補足】 公民館主事と打合せを行い、バルブ開閉のお知らせビラ(A3)の文字を大きく修正、ラミネート加工、及び枚数も増やして掲示した。 また、バルブがある受水槽のフェンス開閉扉の南京錠を取り外し、出入りしやすいように改善した。
生涯学習課	地区公民館のエアコンについて	地区公民館1階和室のエアコンがすべて故障している。公民館は避難所にもなっており、高齢者がエアコンが使用できる2階に上がるのは難しいため、早急に修繕してほしい。	予算の範囲内で優先順位を決めて修繕する仕組みとなっている。十分検討する。 【補足】 公民館に見積書の提出を依頼している。今年度の予算で対応可能か見積書を見て検討し判断する。予算が足りない場合は、補正予算で対応したい。